

人間文化学部 地域文化学科 Department of REGIONAL STUDIES



大学で学び、地域活動で実践する。
塀のない大学の真価がそこにあります。

1回生の4月から近江楽座「地域博物館プロジェクト」に所属し、各地の文化財の保護・活用を通じて地域の活性化を目指す活動を行ってきました。近江楽座の魅力は、学生各々が得意な分野や専門知識を活かして活動できることです。たくさんの学生が学科や学部を飛び越えて、目的を共有しながら協力しあい、地域課題に取り組む機会はなかなかないので、とてもよい経験になります。大学を飛び出して、地域で自分たちの考えた活動を行っていけば、将来につながる大きな自信にもなります。滋賀県立大学には、充実した講義だけでなく、この大学でしか経験できないことがたくさんあります。ぜひ県大で充実した大学生活を送ってください。

人間文化学部 地域文化学科 4回生
渡邊 文乃 さん／愛知県立安城高等学校出身

地域社会の歴史と文化を学び、 未来の地域社会を拓く人材を育てる。

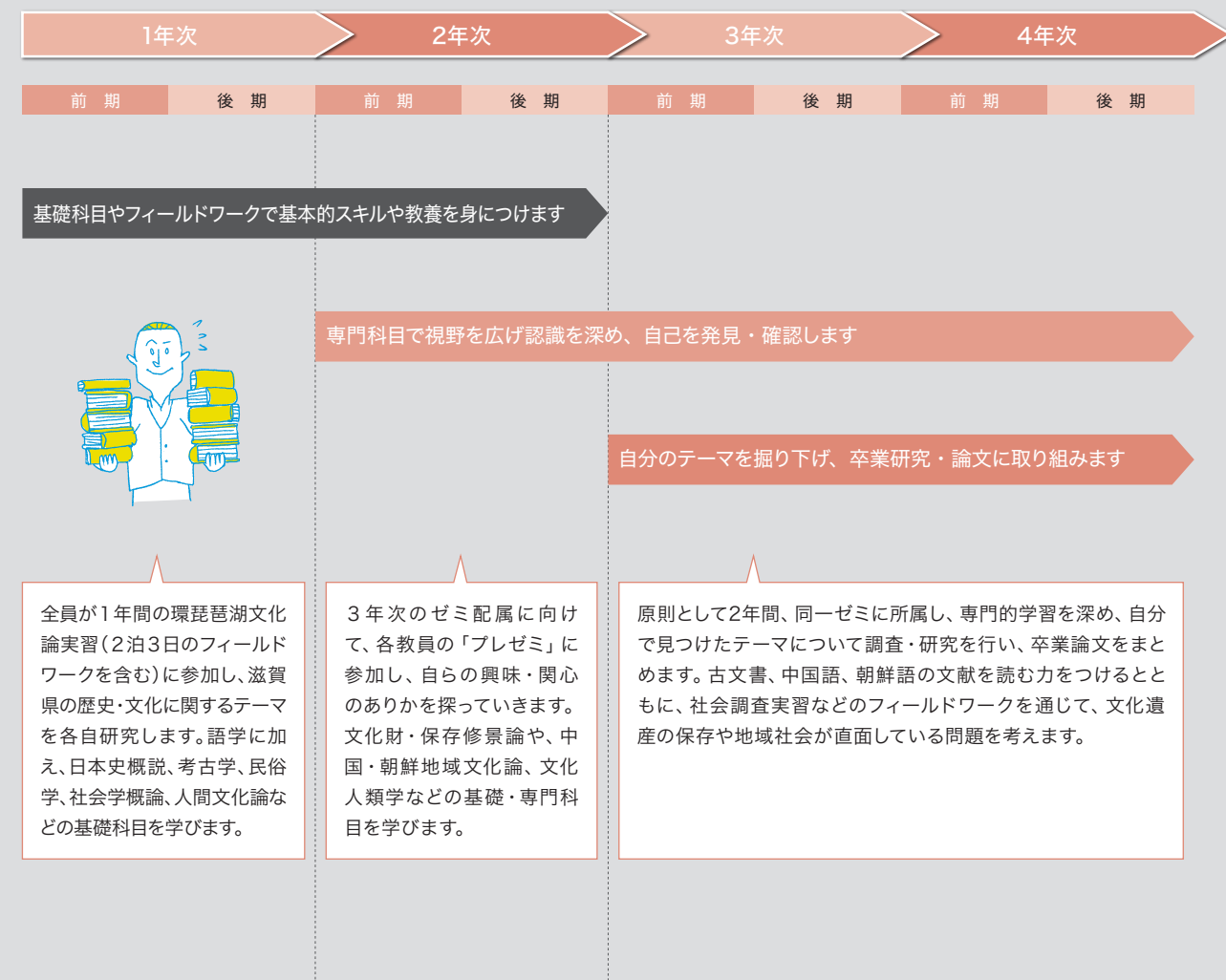
▶ アドミッションポリシー

地域文化学科は、環琵琶湖地域を核とした日本を中心に、密接な交流の歴史を有する中国・朝鮮をも視野において、これらの社会に関わる過去と現在の諸問題を学びます。そのために、社会を分析するさまざまな方法を習得し、フィールドワークを通じて、それぞれの地域に生きる人々の姿を見つめ、これからの地域のあり方について研究します。入学者には、これらの基礎となる国語・英語・地理歴史・公民の科目の学力を有し、歴史・文化・社会に強い関心を持って、自ら行動し、学んだことを地域に還元し、社会貢献できる学生を求めます。

▶ 学びのポイント

現代のような情報化社会において、かえって重要になってくるのは、現実の対象と向かいあって考えることです。地域文化学科では、1年次、2年次において、様々な対象に切り込み、分析し、表現するための学問的方法の習得を目指します。3年次からは少人数のゼミに配属され、各教員の指導のもと、あるテーマに対して学生自身が実際にその方法を適用し、卒業論文を仕上げていきます。地域文化学科において教員が研究しているテーマは多様です。時代でいえば古代から現代まで、地域でいえば滋賀県から中国・朝鮮にまでそのフィールドは広がります。学生諸君には何よりも自ら興味をもち、積極的に現実の対象に立ち向かってもらいたいと思います。その経験は、大学卒業後の仕事や生活においても大いに力になるはずです。

▶ 学びのステップ〈4年間の学習フロー〉



Point

1 ゼミ形式の演習

少人数教育によって学生と教員の間、学生と学生の上に密接な交流が生まれます。

Point

2 「地域」での実習

近江から朝鮮半島、中国大陸へ、人と文化を求めてフィールドワークに出かけます。

Point

3 多様な学問方法

歴史学、考古学、民俗学、建築学、社会学、地理学、美術史、文化人類学など、「地域」との対話を求めて、さまざまな視点と手法を習得します。



人間文化学部
地域文化学科
中井 均 教授

地域文化学科 ってこんなところ

地域文化学科では、私たちの生活する「地域」を、歴史学や考古学と、社会学や地理学などから学びます。さらに歴史遺産を未来に伝える方法を学びます。最大の特徴はフィールドワークで学ぶことです。文書調査、発掘調査、祭礼調査によって学びの世界は大きく広がります。

授業
PICK UP



琵琶湖文化論実習
米原龍ヶ井の集落を歩く

〈専門科目の例〉

講義

歴史的地域論

地域社会の基礎となる家や村・町が、どのように生まれ、どのような役割を果たし、変化していくのかを、古代から近代を通してさまざまな視点から考えます。

考古学

考古学の基礎を学び、具体的な遺跡や遺物を通して、人類の歩んできた歴史を分析し、文化交流や生活の発展過程を検証します。

文化財情報論

専用ソフトを用いた演習も行いながら、文化財の現場で一般的となってきたコンピュータによる3次元モデル・アニメーションの作成・活用について学びます。

民俗学

普通の人々の普通の暮らしが民俗です。さまざまな祭りや伝承が残り、民俗の宝庫といわれる近江を舞台に、民俗とそれを支える社会のしくみを解明していきます。

日本社会論

近現代の日本において、階層・ジェンダー・エスニシティの面で差別を受け、また排除されてきた人々の視点を通して、「日本社会」を見直します。

中国地域文化論

中国文化の基礎をなす世界観を知り、多様な民族の暮らしや今中国で起こっている文化をめぐる問題について学びます。

研究分野とスタッフ

▽ 日本史系

人間や地域社会のあり方を、歴史を通して考える

古代から近代までのさまざまな時代に生きた人間や社会、文化のあり方を研究します。近江をはじめ、多様な地域社会の実態に迫る日本地域史や、絵画・仏像などの作品を素材とする日本美術史、女性に焦点をあてたジェンダー史などを対象に、古文書や古記録、美術品の調査や聞き取り調査など、現地に即したフィールドワークをも取り入れながら、多面的に歴史研究を進めています。

(水野 章二教授、京楽 真帆子教授、亀井 若菜准教授、東 幸代准教授)

▽ 文化交流系

日本と中国大陸・朝鮮半島との文化交流の歴史と現代を考える

古代から現代にいたるまで、日本と中国・朝鮮半島は、政治経済的、文化的に深く影響あってきました。長期的な広い視野をもって東アジアの交流史を学ぶことで、いま私たちが持っている歴史認識を捉えなおし、21世紀の東アジアの国際関係を考えます。朝鮮三国時代と日本との交流(歴史学・東アジア考古学)と、中国および東南アジアの中国系移民社会(文化人類学)について研究しています。

(田中 俊明教授、定森 秀夫教授、横田 祥子助教)

▽ 地域遺産系

地域遺産を記録し、その保存や活用に取り組む

国宝・重要文化財の数が全国第4位である滋賀県は文化財の宝庫であり、文化財指定を受けていないものも含めると、実に多くの地域遺産にあふれている場所です。地域遺産系では、滋賀県を主なフィールドとしながら、日本ならびに世界の地域遺産を、持続可能な状況で後世に残し活用するための方法を学びます。

(濱崎 一志教授、中井 均教授、市川 秀之教授、石川 慎治准教授)

▽ 現代社会系

近現代日本における地域社会を多面的に考える

社会学分野と地理学分野からなります。社会学分野では、インタビュー調査を駆使するフィールドワークを行い、祭・芸能・アートといった文化、地域をつなぐメディア、観光、まちづくりなどの観点から、地域社会の様相を研究しています。地理学分野では、人口動態、各種産業、都市問題、生活文化などに関する様々なデータをコンピュータで地図化し、これらの地域的特徴やその背後にある要因について研究しています。

(塚本 礼仁准教授、武田 俊輔講師)

1日のスケジュール

- 8:50 通学
- 9:00 1限:英語Speaking & Listening
- 10:40 2限:現代中国論
- 12:10 政所茶レン茶ー(近江楽座)ミーティング
- 13:30 昼休み
- 14:50 4限:文化社会学
- 16:30 下校
- 18:00 アルバイト
- 22:00 自宅着

1限



英語でコミュニケーションがとれるようになることを目標とした講義です。

2限



中国の政治や社会問題について学びます。

12:10



政所茶レン茶ー(近江楽座)…茶の産地である滋賀県東近江市政所町で茶畑を借り、現地の茶農家さんの指導を受けながらお茶づくりの実践をしています。地元からお茶にまつわる文化などを聞き、政所の暮らし・文化を学び伝えます。

4限



伝統的とされる芸能や祭の変化を、近現代の日本における観光や開発などの側面から考える授業です。

CAMPUS LIFE
ONE DAY
県大生の一日



古文書演習Ⅱ
地域に残る古文書の現物に触れ、その調査・読解を通して、歴史の展開を学びます。

考古学実習
発掘調査に必要な測量、写真撮影、遺物実測、拓本などを行います。

竪穴式住居

弥生時代の竪穴式住居の成り立ちを知るため、学生主体で復元しました。

美術史実習

美術史実習では、美術作品の見学に彦根や京都の博物館・美術館に行きます。彦根の仏壇店も訪れました。



中国文化人類学実習旅行
中国の文化人類学実習旅行で、四川省カンゼチベット族自治州にて

古民家の保存活用実習
伝統的建造物の調査とその保存計画の策定や古民家の再生を行っています。

地理学実習
デジタルマッピング(コンピュータによる地図作製)の技術を身につけていきます。

進路状況(2013~2015年度卒業生)

◆就職先

東京国税局
関東信越国税局
滋賀県
大津市
甲賀市
多賀町
長浜市
米原市
滋賀県警察
京都府
大阪府
岐阜県
京都市
大阪市
奈良市
浜松市
三鷹市
三原市

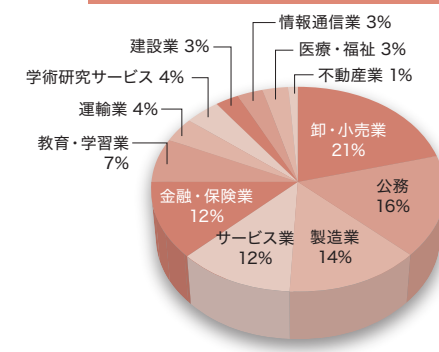
JAグリーン近江
JA甲賀
JA東びわこ
日本郵便(株)
(株)関西アーバン銀行
(株)十六銀行
(株)百十四銀行
(株)福井銀行
京都信用金庫
滋賀県信用組合
エース証券(株)
大和証券(株)

◆進学先

東海運輸(株)
日本通運(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)パローホールディングス
(株)平和堂
(株)ペルーナ
(株)たねや
(株)ロック・フィールド
共英製鋼(株)
THK(株)
TOWA(株)
YKK AP(株)
タマホーム(株)

滋賀県立大学大学院

2013~2015年度卒業生の業種別就職状況



取得可能な資格一覧※

- 教員免許: 中学校教諭一種(社会) / 高等学校教諭一種(地理・歴史)
- 学芸員資格
- 社会調査士資格
- 社会福祉士主任任用資格

OB & OG Message

2013年度卒業
勤務先: JA 東びわこ

岸本 香歩さん



JA 東びわこは、農業に係る営農経済事業、貯金や為替を取り扱う信用事業、「ひと・いえ・くるま」を保障する共済事業などの他に、福祉や葬祭といった幅広い事業を展開する総合JAです。私は支店の信用窓口を担当し、主に貯金の入出金、振込、定期貯金や定期積金等商品のご案内などの業務に携わっています。この他にもお客様は肥料の購入など多様なご用件で来店されるため、信用以外の業務にも携わっています。最近では、顔と名前を覚えてくださり、私に手続きをしてほしいと依頼してくださるお客様がいらっしゃったことがとても嬉しかったです。大学では、フィールドワークで祭や城などの様々な現地調査を行っていました。地域の方とコミュニケーションを取る機会が多かったことが、今の業務に役立っていると思います。商品についてはお客様それぞれの目的や状況に最も適したご案内をする必要がありますが、伝え方が難しいと感じています。お客様の求められることを汲み取り、自信を持って商品をお勧めできるようになりたいです。

(2016年1月現在)